



安満山中腹に復元された安満宮山古墳



復元された安満宮山古墳から大阪平野をのぞむ

高槻が誇る郷土の歴史遺産、安満宮山古墳を築造当時の姿に復元しました。ガラスシェルター内では精密な複製で発掘調査のようすを再現。そして説明板には古代の技法にならって銅鏡を鑄造し、埋め込みました。そっとふれてみてください。



● 古墳へ行くには・・・  
 JR高槻駅南口・阪急高槻市駅北口から市バス上成合か川久保行きで「磐手橋」下車1.4km  
 高槻市公園墓地内 徒歩25分

● 古墳の見学は・・・  
 公園墓地の開園時間内(9時-17時)は自由に見学していただけます。

● 問い合わせ先

高槻市立今城塚古代歴史館 TEL 072 - 682 - 0820  
 編集と発行 高槻市教育委員会文化財課

青龍三年の丘  
 安満宮山古墳

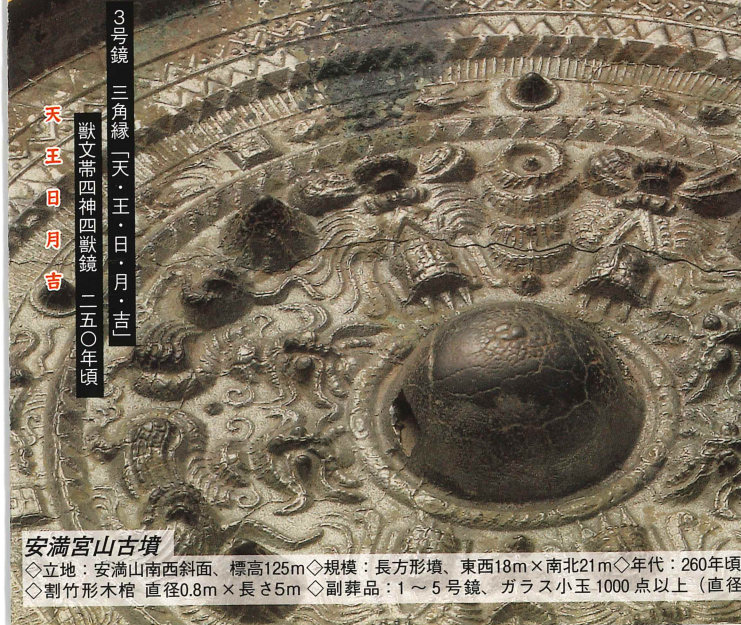
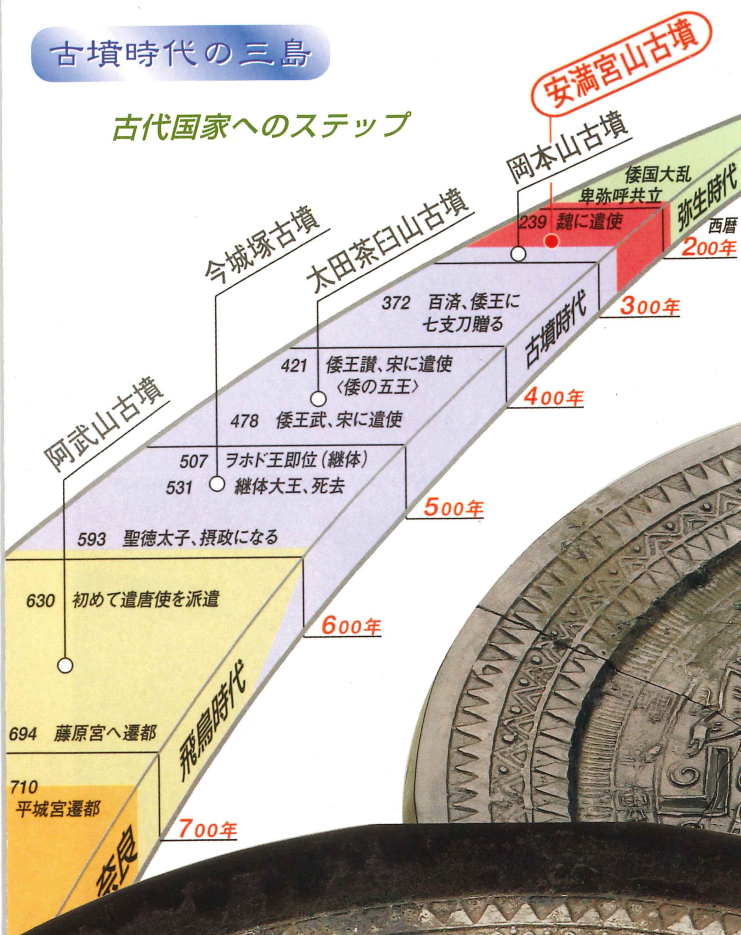


AMA-MIYAYAMA TOMB



古墳時代の三島

古代国家へのステップ



安満宮山古墳

◇立地：安満山南西斜面、標高125m ◇規模：長方形墳、東西18m×南北21m ◇年代：260年頃  
 ◇割竹形木棺 直径0.8m×長さ5m ◇副葬品：1～5号鏡、ガラス小玉1000点以上 (直径



卑弥呼を映した鏡



# 倭国女王・卑弥呼の外交ルートがみえてきた。

弥生時代の環濠集落として名高い安満遺跡の背後にそびえる安満山。平安時代から春日神社（現 磐手社神社）の神域として守られてきた聖なる山です。

平成9年夏、この山の中腹を発掘調査したところ、長大な木棺を納めた古墳が発見され、安満宮山古墳と命名されました。棺内には青銅鏡5面（1号鏡～5号鏡）をはじめ、ガラス小玉をつづった装飾品や刀・斧などの鉄製品が副葬され、並々ならぬ人物が埋葬されていたことが明らかになりました。



東側からみた墓坑（上）

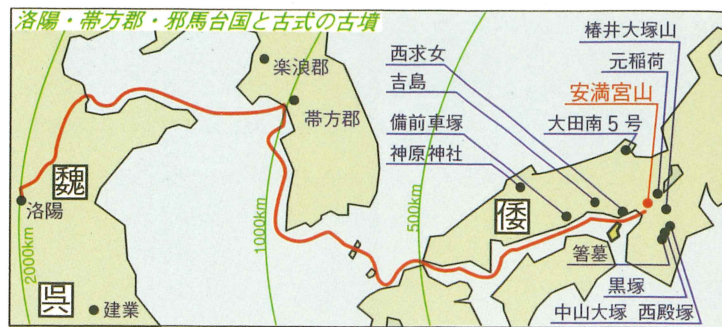
周囲に排水溝をめぐらし中央に深い木棺埋納坑を設けています。

木棺埋納坑（下）

木棺埋納坑の底は、水銀朱で一面あかく染まっています。遺体は東枕に葬られており、頭側に銅鏡とガラス小玉製の装飾品、足元側に鉄刀などの鉄製品をひとまとめにしてありました。



鉄刀



注目されるのは、中国・魏の年号、青龍三年(235年)銘をもつ方格規矩四神鏡(2号鏡)です。1992年に丹後半島中央部の大田南5号墳から出土した鏡と同形の、日本最古の年号鏡です。さらに興味深いのは、それが古いタイプの三角縁神獸鏡(1号鏡)などと、日本ではじめて一緒に出土したことです。

「魏志倭人伝」には、景初三年(239年)6月倭国の外交使節団が邪馬台国を出発、12月に魏の都・洛陽に到着。魏は倭国女王・卑弥呼に対し「親魏倭王」の印綬とともに「銅鏡百枚」などを与えたと記されています。安満宮山古墳の1号鏡、2号鏡、5号鏡の3面はその一部と考えられ、「銅鏡百枚」の実体に迫る画期的な発見です。

邪馬台国の重要な外交ルートである淀川を一望する安満宮山古墳。

ここに眠る人物は、眼下に広がる安満遺跡を拠点とするこの地の王で、使節団の有力な一員として活躍し、これらの貴重な鏡を女王・卑弥呼から直接、授けられたのでしょう。

## 卑弥呼が「銅鏡百枚」







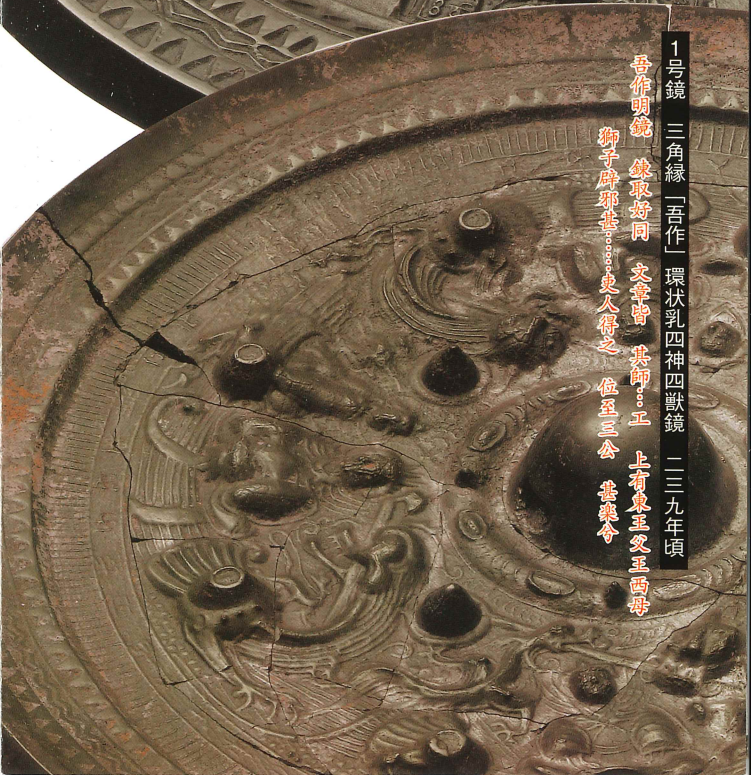
鏡にうつされた神々

鏡面の裏側には、青龍・白虎などの四神、あるいは神仙思想にもとづく東王父・西王母などの神像や靈獸が配置され、古代中国の宇宙観・世界観がうかがえます。また銘文には、立身出世や不老不死の願いがこめられています。



5号鏡 「陳是作」半円方形帯同向式神獸鏡 二二九九年頃

陳是作鏡 君宜高官 侯子宜孫 萬年



1号鏡 三角縁「吾作」環状乳四神四獸鏡 二二九九年頃

吾作明鏡 鏡取好同 文章皆 其師。王 上有東王父西王母 獅子辟邪毒... 史人得之 位至三公 其樂令

# 入手した 文」とは!?

これまで、その「銅鏡」とは、古墳から数多く出土する「三角縁神獸鏡」だと考えられていました。ところが安満宮山古墳の発見により、魏の時代の方格規矩鏡や同向式神獸鏡、古いタイプの三角縁神獸鏡など、いろいろな種類の鏡が含まれていることがわかりました。

鏡銘文・大意

- 1号鏡：わたしは好い銅をもちい文章をかいて、すばらしい鏡をつくった。東王父と西王母がおり、獅子はどんなわざわいもしりぞける。いのち永く、老いることがない。役人がこの鏡を得れば、位は人臣をきわめる。
- 2号鏡：青龍三年（西暦235年）、顔氏は文章をかき鏡をつくった。左の龍、右の虎はわざわいをしりぞけ、朱雀・玄武は陰陽にかなう。子々孫々、中央を治める。いのちは金石のように永く、候王にふさわしい。
- 3号鏡：「天」「王」「日」「月」「吉」
- 4号鏡：わたしはすばらしい鏡をつくった。青龍と白虎はそれぞれ左側にあって守っている。鏡をもつ者は長命で、子孫は栄え高い官職につく。
- 5号鏡：陳がこの鏡をつくった。鏡をもつ君は高官にふさわしく、子孫は万年も栄える。